

## 自作の英作文とオンラインボイスレコーダーを活用した 学習評価の工夫！

(Sunshine English course 2 Program 6 Live Life in True Harmony)

①書く

①話・発

②個・発

②評価

③タブ

### 【ここがポイント！】

#### ①「学習用パソコン（一人1台端末）を活用した発表練習と発表」

○生徒自身が作成した「自分のお気に入りのもの」についての英作文を発表する場面を設定する。

○生徒自身が「作成した英作文を発表してみると、どんな風に聞こえるのだろうか？」「実際にどのように英語を話しているのだろうか？」などと考えながら、何度も繰り返し練習を行うことができるように、オンラインボイスレコーダーを用いて学習を行う。生徒自身が自分で聞き直すことで音声面での質を高めることができる。

○質が高まった発表を、生徒に本番用としてクラスルームに提出させる。

#### ②「オンラインボイスレコーダーを用いた学習評価」

生徒が何度も繰り返し練習をして、本番用として録音した音声をクラスルームに提出するので、指導者は繰り返し音声を聞くことが可能である。指導者もしっかりと生徒の学習の成果を評価することができる。

### 【実践の目標】

繰り返し練習することで音声面での質を高める！

### 【実際の場面】

#### 1. 例文の読み取り

「My Favorite Things」というタイトルの基で作文するために、例文を読み取り、英作文する際の参考にした。自分自身のお気に入りのものを英語で言語化するためのイメージづくりを行った。

#### 2. 英作文のための情報収集

「My Favorite Things」を紹介するために必要な情報を、学習者用パソコン（タブレット）を用いて収集し、自分自身のお気に入りのものを、英語で言語化するための情報をワクワクしながら収集した。



#### 3. 英作文

収集した情報や例文の構成を基に、「My Favorite Things」について英作文をした。

#### 4. 発表練習

完成し添削された原稿を基に、生徒は繰り返し発表練習を行った。その際、オンラインボイスレコーダーを用いて、自分の発表を何度も録音し聞き直すことで、音声面での質を高めた。オンラインボイスレコーダーを活用し、生徒自身が主体的に自らの言語活動について、どのような点を修正し、どのような英語での言語表現を行えばよいのかを何度も検討できるように、可能な限り練習時間を確保した。

#### 5. 発表・提出

繰り返し練習した成果として、生徒自身が録音したもので納得がいった音声データをクラスルームに提出させた。

#### 6. 学習評価

生徒がクラスルームに提出させた音声データを、指導者が評価を行い、生徒へフィードバックを行った。指導者による生徒へのフィードバックを基に、生徒が自らの英語による言語表現や言語材料について振り返り、今後の音声面での質の向上を図ることができるようにした。

### 【成果と課題】

#### 【成果】

○生徒は1回の発表で評価されるわけではなく、時間の許す限り、自分の納得いく発表の練習ができるので、必然的に繰り返し練習をすることができた。

また、人前で発表することが苦手な生徒も安心して取り組むことができた。

○指導者も、即時的に評価するのではなく、何度も繰り返し生徒の音声データを聞くことができるので、比較・検討し評価を熟考できた。

#### 【課題】

○録音という形をとったため、音声面でのみの評価となり、アイコンタクトやジェスチャー等を含めた総合的な評価とならなかった。動画を用いた学習評価も考えていく必要がある。

府中町立府中緑ヶ丘中学校

